



語学力を向上させるだけでなく自分を見つめ直すことができ、充実した二週間でした！

工学部 電気工学科 1年  
前田 はるかさん

## 参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：  可 ・  不可

派遣先： アメリカ・UNLV

私は英語のスピーキングがとにかく苦手だったので、海外に行くことで自分を「英語を話さなければいけない状況」に追い込み、スピーキング能力を中心とした英語力を向上させたいと思い語学研修に参加しようと思いました。私はこの研修に参加するまで海外に行ったことがなく、海外での生活にかなり不安があったため、短期間の二週間のプログラムに参加することにしました。また、英語力を向上させる上で英語を母国語とする人とたくさん交流したいと思ったことと、アメリカの華やかな文化を体感できるということを踏まえて、ラスベガスのUNLVを研修先として選択しました。

滞在期間中は現地の大学での英語の授業はもちろんのこと、大学の研究室見学、Switch, Unileverなどの企業訪問、ラスベガスの繁華街の探索、Valley of Fireなどの大自然のツアーなど、多種多様なプログラムが盛りだくさんでとても充実した時間を過ごすことができました。英語の授業では文法やリスニング、アメリカの歴史・文化、スピーチの組み立て方など様々な内容について学習しました。私は英語の授業の中で特にほぼ毎回1分～2分程度のスピーチを考えきて発表する課題を出されたのがとても印象に残っています。毎日のようにスピーチを書きクラスで発表するのはとても大変で緊張しましたが、この課題で私のライティングやスピーキング能力をかなり向上させることが出来たのではないかと思います。また、大学の研究室見学や企業訪問では現地の学生や職員の方から英語で説明を受けながら案内をしていただきました。話すスピードが速く、専門用語も多く出てきたため、説明を聞き取るのにかなり苦戦しましたが、アメリカならではのスケールの大きな施設をたくさん見学できたことは、自分の専門分野の学習へのモチベーションを高めてくれました。

この研修を通じて私は「英語はあくまでツールであって、英語で喋れるようになることがゴールではない」ということを痛感しました。現地の学生や企業の職員の方々の中に英語を母国語としていない方がかなり多かったのがとても印象に残っています。そのような方々でも当たり前のように英語を使いこなして学業や研究に励んでいる姿を目にして、私も英語を習得することに満足せず、専門分野の研究をする上での道具として使いこなせるようになりたいと強く感じました。これからも英語の学習に力を注いでいくとともに、グローバルPBLや海外インターンシップなど自分の専門分野に関する研修にも積極的に参加していきたいと思っています。



初めてのアメリカ本土！ラスベガスの街に刺激を受け、自然に感動した2週間。韓国人の留学生とも交流を深められ、貴重な体験が盛りだくさん。

建築学部 建築学科 1年 小久保 夢乃さん

## 参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：  可 ・  不可

派遣先：アメリカ・UNLV

今回私がこのネバダ大学ラスベガス校へ留学を決めたきっかけは、2週間という比較的短い期間でアメリカ本土に行けること、そしてUNLVは芝浦の留学プログラムのなかで唯一“前例がない”プログラムであったことが主な理由でした。さらに今回は芝浦のほかに韓国人の留学生とも同じプログラムで同じ授業を受けることができるのも魅力的でした。

実際の授業の様子は、午前中2時間、午後2～3時間で、Engineer Classと一般クラスに分かれて午前中は授業を受けました。私は一般クラスに参加し、配布された教科書に沿って授業を進めました。日本の授業は主に学生は”聞くだけ“が多いですが、アメリカの授業は参加型で先生が質問したことにに対して学生が誰でも自由に答えるような感じでした。さらに授業内で隣の人とペアを組んで行うPair Workもあったので、私はあえて日本人同士と隣にならず、韓国人の隣に座って授業を受けました。そのおかげで韓国人と仲良くなり、一緒にご飯を食べに行ったりもしました。そして、プログラムの中にあるアクティビティは一つ一つが充実しており、ラスベガスの街歩きや普段はなかなか見ることができない大きい会場でのバスケットボールゲーム、さらにはグランドキャニオンに行けるツアー（天候が悪くてスノーキャニオンに変更になりました）もありました。そこでは、アメリカの大自然が感じられて、日本では体験できない場所でもとても感動しました。

このプログラムに参加して、私は自分の英語力、主にリスニング力が向上しただけでなく、ラスベガスの街の建築物にも刺激を受け、日本では絶対にはないような巨大なオブジェなどを見ることができて、建築学部としても非常に大きなものを吸収できました。今回学んだことは自分の人生の中で確実に活かすことができると思うし、もっとスピーキング力も伸ばしていきたいと考えています。そのために今後も海外留学のプログラムに積極的に参加したいと考えています。



初めての短期留学で英語のネイティブとの差を実感。現地学生や他国の留学生との交流でさらに英語の学習意欲につながった！

工学部 電気工学科2年 引地 彩人さん

## 参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：  可 ・  不可

派遣先：アメリカ・UNLV

私の留学のきっかけは、友達との春休みの過ごし方について話していた時のことです。私の友達は入学後にすでに留学へ行き、さらに英語を学ぶために2回目の留学へ行こうか悩んでいました。一方、私は英語に関して読み書きはそこそこでしたが、会話に関しては全くダメでした。そこで私もネイティブの英語に触れたい、また、文化を学びたいと思い、その友達とこの留学プログラムに参加させていただきました。

滞在中は、午前3時間、午後3時間の英語の授業とその後に特別活動がありました。午前の授業では積極的に会話を上達させるため、自己紹介やスピーチをしたり、講師からの質問に答えるなど実践的な内容でした。午後の授業ではリスニングを中心に教科書の問題を解いたり、他国の留学生と話し合ってお互いの性格などを教えあったりしました。特別授業では、いろいろな専門(電気、機械化学など)の教授がそれぞれの研究室を紹介してくれたり、会社の重要取締役の方が会社の設営等について説明してくれたり身になる体験になりました。また、アメリカの観光地へ連れて行って紹介してもらいました。スケジュール的に厳しいところもありましたが、たくさんの体験をすることができ、英語だけでなく文化への学習意欲へともつながりました。

留学期間が2週間というどのくらいか不安になると思いますが、ちょうどよい長さだと私は思います。最初はネイティブとの差に驚くと思いますが、3日ほど過ぎると話すことも聞き取ることも慣れてくると思います。私たちのグループでは講師によく「Don't be shy!」と言われていました。英語の使い方や発音などの失敗を恐れず、とりあえず話すことで語学力は上達していくことを実感した留学でした。今後は、この体験を生かして失敗を恐れずに英語を活用していこうと思います。



恐れずに言葉にすることが大切、上手く話せなくても考えが伝わったことが英語を使う上への自信につながりました！

工学部 情報通信工学科 1年 石田 玲奈さん

## 参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：  可 ・  不可 派遣先： アメリカ・UNLV

私はアルバイト先で英語を使う場面がたまにあり、そこで英語対応のマニュアルがなくても臨機応変に英語を使えるようになりたいと考えていました。そこで実際に本場で使われている英語に触れることで実用的に英語を使えるようになると思いこのプログラムに参加しました。また、勉強だけでなく観光も充実したところ、ということを重視してこのUNLVのプログラムを選びました。

英語はもともと好きで自分では日常会話くらいなら問題なくできるだろうと思っていましたがいざ現地で話してみると思ったより話すスピードが早かったり、意見を伝えるための上手な表現が思いつかなかったりと意外に会話も難しいのだと感じることが多くありました。しかしプログラム中の授業でグループワークがあった時に他の留学生は文章になっていなくてもとにかく単語で発言をしていて、それでも意図は通じていました。それを見て、私は今まで頭の中で一生懸命文章を組み立ててから発言をしていたけれども文章にできず単語しか思い浮かばなかったとしてもとにかく発言して挑戦していくことが大切だと学び、実行するようになりました。単語でしか表現できなくても相手は意図を汲み取ってくれて、意見を伝えられたのでこのことは大きな自信になりました。また、この経験を通じてグループワークで発言することに少しずつ慣れてきて、以前よりも積極的に発言できることが多くなりました。

今回は語学力の向上を目的とした留学でしたが、もっと英語が上達し、学科の専門の知識を蓄えた上で専門のことを学ぶために留学をしたいという思いも出てきたので在学中にもう一度留学プログラムなどに参加することを考えています。





2週間という短期間だったけど、海外という地で生活したことにより英語への興味が上がった！

システム理工学部 環境システム学科 1年  
高倉 稜太さん

## 参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：可・不可

派遣先：アメリカ・UNLV

私は元々英語力が低く、なかなか成績もこの一年間で上がっていなかった、そこで実際に海外に行ってその場で英語に触れ、普段と異なる環境で生活を行うことで何か少しでも英語に対する考え方に変化があれば良いなと思ったため、今回私はこのプログラムに参加することを決意したのです。

滞在期間中の平日は午前中2時間、午後3時間の英語の授業が行われました。全て英語での授業なので日本人の私は全然することなどを理解することもできずとても大変だったのですが、一緒に授業を受けていた韓国からの留学生たちが簡単な英語で先生の言ったことを私たちに伝えてくれたおかげで2週間の授業を乗り越えることもでき、韓国に多くの友達ができました。また、土日や祝日は自分たちで観光名所を回ってお土産を買ったり、アウトレットに行ったり、グランドキャニオンのようなところなどの日本には存在しないような景色の所に行ってきました。これらは海外ならではの経験ばかりで自分の人生にとってとても良い刺激になったと思います。

2週間という短期間のプログラムではありましたが、授業時間も多かったし、上記で述べたように海外でしかできない特別な体験も多くすることができ、今回このプログラムに参加した目的でもあった英語に対する考え方に変化をもたらしたいという点もしっかり達成することができました。だから今後私は英語の勉強により力を入れるようにし、TOEICのスコアもアップできるように努力していきたいと思います。また、どこかでもう一度在学中に海外を訪れたいです。



英語が話せる韓国の学生と一緒に授業を受けることで、自然と日常会話が話せるように！

デザイン工学部デザイン工学科 2年  
西野はる菜さん

## 参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：  可 ・  不可

派遣先：UNLV(ネバダ大学ラスベガス校)

夏休みにgPBLに参加した際、自分の意見を英語で伝えられない不甲斐なさを感じ、今回英語力のスキルアップを図るため、このプログラムに参加しました。英語力の飛躍的な向上を求めたのであれば4週間やそれ以上の長期プログラムを選択すべきであると思いましたが、所属している部活動が春休みに活動があり、2年生で引退のため、最後の活動に参加したいという思いがあり2週間の短期プログラムを選択しました。また、UNLVにした理由といたしましては、アジア圏ではなく英語の本場である米国で学びたいと考えたからです。デザイン工学部ではgPBLでアジアに渡航するチャンスは今後もありますが、米国に渡航するチャンスはほぼありません。また、両親にできるだけ負担をかけたくないという理由もあり、米国の中でも比較的安価であるUNLVを選択しました。

滞在期間中は10時から12時、14時から17時まで2週目から16時までの1日で4時間から5時間の授業を英語授業を受講しました。英文法を英語で受ける授業が主であり、一度日本語で学んでいることを英語で学ぶため、多少英語で理解できない部分があっても理解することができました。しかし、英語で説明される課題の概要などを理解することは難しく、何をやっていいのかわからないことも多々ありましたが、そのような時、一緒に受講していた韓国人の学生が易しい英語で伝えなおしてくれるなどしてくれました。このような授業での会話のおかげで仲良くなり、週末や夕飯を共に取ることで自然に英語で会話しようとする姿勢が生まれました。

短期間のプログラムではありましたが、授業の他にも工場見学や研究室見学を通して、現地の方との交流もあり非常に良い経験ができたと感じています。また、英語の力だけでなく他の学部学科、韓国人の友人ができるなど、交流関係を広げることも出来ました。今後は、この経験をgPBLや2020年に行われるオリンピックなどで活かしていきたいと考えております。



外国の人と話す機会が豊富！  
スピーキング力アップが目指せます！

システム理工学部 機械制御システム学科2年  
藤井智也さん

## 参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：  可 ・  不可 派遣先： アメリカ UNLV

私は高校時代から英語を勉強することが好きでした。しかし、大学在学中は専門科目などで忙しく、あまり英語学習に使える時間がありませんでした。そのため、長期休暇の時間を英語学習に充てようと思い、語学研修に参加しました。一年生の夏にアメリカのUOGのプログラムに参加したため、今回は同じアメリカの本土にあるラスベガスを選択しました。

滞在期間中は、平日は5～6時間程度、英語のスピーキングとリスニングをメインとした授業を受けました。授業はすべて韓国人と混合のクラスで、韓国人とのコミュニケーションをすることによるスピーキングの授業もありました。また、企業見学が数日あり、アメリカの企業の空気が味わえました。休日はショッピングモールに行ったり、市街地に行ったりと各々が自由に行動していました。食生活は外食が多かったですが、節約のため自炊をしたりもしました。

二週間という短いプログラムでしたが、英語でほかの国の人と話したり、友達を作るにはよい機会になったと思います。またこのプログラムでは集団行動をする機会が多く、その中で団結する意識ができました。現地の人と話してみたい、海外の友達を作りたいというひとにお勧めしたいプログラムでした。